

平成30年度

(一財) 熊本国際観光コンベンション協会

事業実績報告

平成31年3月31日

(一財) 熊本国際観光コンベンション協会

I 新たな観光素材の創造

- (1) 2019年国際スポーツ大会に向けたインバウンド受入体制の整備
 - ⇒ 水前寺地区での日本文化体験メニューの整備・受入体制を構築
 - ⇒ 二次交通と組み合わせた周遊パスの作成
- (2) 「熊本城復旧基本計画」に沿った観光客誘致策の創造
 - ⇒ 2019.10/5 予定の大手守外観完成に伴う誘致策の構築
- (3) 復旧する文化施設や観光施設を活用した新たな観光素材の創造
 - ⇒ 近日に全面開園予定の熊本市動植物園の魅力アップ策の構築・提案
 - ⇒ 「ジェーンズ邸」復旧に併せた新たな観光素材の構築・提案

II MICE誘致・支援

- (1) 大規模及び国際コンベンションの戦略的誘致
 - ⇒ 「当協会」「熊本市新ホールマネジメント課」「熊本城ホール」で誘致情報の共有、役割分担、課題整理
 - ⇒ 熊本城ホール開業に関する事項等の問題解決のため、3者会議を定期開催
 - ⇒ コンベンション特別助成金交付要項を新設
- (2) 誘致活動(県外セールス)
 - ⇒ IME2019(国際MICEエキスポ、有楽町)に参加。バイヤーとの商談16件(うち提案2件)
 - ⇒ 誘致対象コンベンション会場にてロビー活動等の実施(3大会)
- (3) 平成30年度 誘致決定案件
 - ⇒ 22件、46,945名泊(3/31現在)今年度の課内目標50,000名泊に対し進捗率93.9%
- (4) 開催支援助成金
 - ⇒ 助成件数140件 参加者数53,460人 助成金額 23,545千円

III ネットワークの構築

- (1) 説明会の開催
 - ⇒ 地元大学教授や組織団体支部等の主催者を対象としたコンベンション開催促進セミナーを開催
 - ⇒ セミナー終了後には、「水前寺成趣園」にて、ユニークメニューを活用したレセプション体験会を実施

IV 国内からの誘致促進

- (1) 旅行商品造成セールス
 - ⇒ 2019年7～9月の熊本デスティネーションキャンペーンに向けて、熊本市内のコース作成
 - ⇒ 2018年7～9月に実施したプレDCキャンペーン実施
- (2) エージェントの招へい
 - ⇒ 国内の商品造成地区における企画担当者を招へいし、旅行商品の造成を促進
 - ⇒ 各旅行会社の企画担当者を中心に、被災地研修を含め対応
- (3) 教育旅行の誘致
 - ⇒ 「熊本市観光誘致推進協議会」で、教育旅行の誘致活動を実施
 - ⇒ 学校関係者・企画担当者の招へい 32件
 - ⇒ バス利用助成金 28件 観光ボランティアガイド派遣235件

V 海外からの誘致促進

- (1) インバウンド招へい対応等
 - ⇒ 九州4都市連携招へい事業(北九州・福岡・佐世保・熊本)
 - ⇒ 韓国・中国・台湾・シンガポールのAGT招へいを実施
- (2) インバウンド受入体制の充実
 - ⇒ 熊本港入港船乗務員を対象としたおもてなしの向上
 - ⇒ 多言語自動翻訳機の導入

VI 観光資源の活性化

- (1) 「くまもとさるく」・「まち咲き案内人」の見直し
 - ⇒ くまもとさるく参加者数 382人 まち咲き案内人利用者数 8,058人
- (2) 熊本城以外の観光素材の掘り起こし
 - ⇒ 交通アクセスが不便な植木・田原坂方面と島田美術館・霊巖洞方面へ観光タクシーを運行
 - ⇒ 宮本武蔵コースは英語版チラシを配布
 - ⇒ 熊本城マラソン出走権付植木温泉宿泊プランを実施
- (3) 地域に密着した活動の支援・協力
 - ⇒ 様々な地域活動へ参加
- (4) 交流人口の増加に向けた取組み(協会主催及び共催行事)
 - ⇒ 「しゃちほこまつり」、「城彩苑夜市」、「旧細川刑部邸紅葉ライトアップ」、「熊本城迎春行事」の協力
 - ⇒ 「戦国パーク 武士の魂-mononofu no chikara-2019」の開催

VII おもてなし・受入体制の充実

- (1) 観光ボランティアガイドとの連携強化
 - ⇒ 県内高校生に対して、熊本城の歴史と現状・将来について講座を実施
 - ⇒ 「熊本よかとこ案内人の会」10期生募集
 - ⇒ JR熊本駅周辺や視聴覚障がい者・車いす利用者・旅行弱者へのおもてなしの向上を図る
- (2) 観光案内所の運営
 - ⇒ 熊本市内観光案内所2ヶ所の運営を熊本市から受託
- (3) 二の丸無料休憩所の運営
 - ⇒ 熊本地震の概要や災害復旧の状況写真を展示

VIII 広報・宣伝活動

- (1) 観光パンフレット等の作成やくまもと観光親善大使のプロモーション、植木市宣伝隊を実施
- (2) 観光説明会の開催
 - ⇒ 今年度の東京・大阪説明会では県観光連盟と共同にて実施
 - ⇒ 熊本県の情報も併せて提供を行うとともに、AGTと熊本からの参加施設による商談会を実施
- (3) ネットを活用した情報発信
 - ⇒ 協会オフィシャルホームページの外国語ページを携帯端末からも利用しやすくリニューアル
 - ⇒ 出捐企業、賛助会員を対象としたメルマガ配信を開始
- (4) SNSを活用した情報発信
 - ⇒ 「Facebook」外国語版も2019/1～発信開始
- (5) 機関紙の発行
 - ⇒ 協会の広報誌「Welcome」を会員向けの情報誌として抜本的に見直し

Ⅸ 協会収益事業

- (1) 新たな商品開発
 - ⇒ 動植物園グッズ及び熊本博物館ミュージアムショップのオリジナルグッズの開発
 - ⇒ 缶バッジ、絵はがき、クリアファイル、文具などのオリジナル商品を作成
- (2) 新たな販売場所の確保
 - ⇒ 熊本博物館リニューアルオープンに併せ、館内のミュージアムショップを開設(2018.12/1～)
 - ⇒ 熊本市動植物園の全面開園に伴い、正面入口側で仮設売店営業を開始
- (3) インターネット販売の継続
 - 平成28年10月に「Yahoo!ショッピング」内に「動植物園オリジナル商品」を開店させ、継続営業中
- (4) 協力企業・団体による販売協力
 - ⇒ 全国各地の様々な企業・団体から復旧・復興の協力申し出があり